

イストラデフィリン

このお薬はパーキンソン病のウェアリングオフ現象を改善します

自己判断でお薬を中断してはいけません

- ・悪性症候群という高熱、意識障害などの重い症状が現れることがあります
- ・脱水にも注意を

眠気や突発的睡眠、めまいに注意

- ・自動車の運転、機械の操作、高所作業など危険を伴う作業は避けてください

便秘に注意しましょう

- ・L-ドパなどお薬の吸収が悪くなることがあります

パーキンソン病体操をしましょう

手足が震える
(安静時振戦)

振幅の
大きな震え



手足の筋肉が
こわばる
(固縮)



体の動きが
遅くなる

(無動・寡動：動きが少ない)



倒れやすくなる (姿勢反射障害)

ウェアリングオフ現象とは

パーキンソン病の治療でレボドパ製剤を長期間服用すると、薬の効果が次第に短くなる場合があります。その結果次の薬を服用する前に効果がなくなり、症状が再び現れてしまうのです。このように薬が効いて症状が良い状態 (on 状態) と、効き目が弱くなり症状が現れた状態 (off 状態) を1日のうちに何度も繰り返すようになる現象を言います。

● 薬局名

● 薬剤師名

Memo